

# い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

# いけだ

No.146

いけだ市議会だより

平成28年(2016年)1月1日



ウォンバット



ワラビー



エミュ

五月山動物園にて

**新年のごあいさつ**・・・ 2

議長・副議長、各議員団

**委員会レポート**・・・ 5

平成26年度 各会計決算審査

**やまばと**・・・ 8

ローンセストン市との姉妹都市提携50周年

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



# 謹賀新年



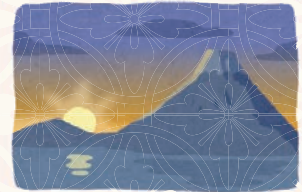
議長

川西 二郎



副議長

小林 義典



新年あけましておめでとございます。市民の皆さまには、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、振り返ってみますと、昨年もさまざまな出来事がありました。近年は全国各地で大規模な自然災害が発生しており、昨年9月に発生した関東・東北豪雨による被害は記憶に新しいところです。池田市でも昨年、一昨年とゲリラ豪雨による浸水被害が発生し、想定外の自然災害に対して全ての被害をなくすことの難しさを実感しました。近い将来に発生すると指摘されている南海トラフ巨大地震への備えも含め、「防災」だけではなく「減災」の対策がいかに必要であるかを再認識したところです。

また、昨年は、府政、市政の各選挙が相次いで行われました。私たち池田市議会議員も、議員定数を1名削減して4月の統一地方選挙に臨み、市民の代表として活動する新たな22名が選ばれました。今期は過去最多となる9名の新人議員が誕生しましたが、全議員が初心を忘れず、市民の信託に応えてまいります。

市政においては、さきに述べた防災・減災対策を初め、少子高齢化社会における福祉・子育て施策、公共施設の老朽化対策や再編整備、まちの活性化施策、財政問題など、検討していくべき課題は多くあると思いますが、議員一同、それらに対する十分な議論を行いながら、議決機関としての権能を最大限に発揮していきたいと考えておりますので、市民の皆さまにおかれましては、市議会また市に対し、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、本年も皆さまにとりまして幸多い年となりますよう祈念しまして、新年のあいさつとさせていただきます。

## 大阪維新の会池田議員団

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。池田市民の皆様には、幸多き新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

守るべきものは守りつつ、維新にしかできない民間目線、市民目線の改革を推し進めて参ります。

皆様方の一人ひとりのお力だけが頼りです。池田市の未来のために頑張つて参りますので、本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



石田 隆史



富田 裕樹



羽田 達也

## 民社クラブ議員団

初春を寿ぎ、今年が市民の皆様にとってより好い年となりますよう祈念申し上げます。

旧年は台風・豪雨が猛威を振るい、安民法案の成立、府・池田の首長選挙に注目が集まりました。

申年は伸びる意味から物事が進歩発展し、成熟すると言われています。民社クラブも活発に行動し市政の発展に尽力してまいります。



内藤 勝



前田 敏



## 日本共産党議員団

新年あけまして  
おめでとございませう

昨年は戦争法案をめくり、戦後  
かつてない国民運動と共同がひろ  
がりました。日本共産党は国民の  
声を受け「戦争法廃止、立憲主義  
を取り戻す国民連合政府をつくら  
う」という提案を行いました。

今年さらさらには共同の輪を広げ、  
提案の実現のため頑張ります。

市政では自治体の役割である福  
祉の増進へ向け、チエック機能を  
高め、市民の声を議会に届け、市  
民本位の市政めざして頑張ります。  
本年もよろしくお願い致します。



藤原美知子



白石 啓子



小林 吉三

## 自由クラブ議員団

新年あけまして  
おめでとございませう

本年も市民に開かれたクリーン

な市政を基本に、安全で安心な市  
民生活の向上はもとより、教育・  
福祉・環境・まちの活性化など、  
市民の皆様立場に立つて最大限  
の力を傾注してまいります。

皆様にとりまして幸多い年にな  
りますようご祈念申し上げます。



浜地慎一郎



倉田 晃

## 自民同友会議員団

新年あけまして  
おめでとございませう

さて、昨年は、市議会議員・知

事・市長選挙が実施され、あわた  
だしい一年でありました。

本年は、じっくりと市政と向き  
合い、市民の立場に立つて、市民  
ニーズに的確にこたえられる市政運  
営を推進しなければならぬと決  
意も新たにしております。

本年も、昨年以上に市民の皆様  
が安全・安心に暮らせる池田をめ  
ざして頑張りますので、なお一層  
のご支援・ご指導を頂きますよう  
心よりお願い申し上げます。



木下 克重



細井 馨



小林 義典





# 市民クラブ議員団

新年あけまして

おめでとございませう。

昨年四月の選挙で信託を受け、新人議員二人を含む五人で市民クラブ議員団を構成しました。

各議員が自己研鑽に励み、少子超高齢・人口減少社会に向かう中での子育て・教育・財政運営・自治体内分権・地域福祉などの研修を受け、理事者と質の高い議論ができるよう努めてまいりました。

また、議員団としては、全国市長会主催の研修を長野市で、全国市議会議長会主催の研修を福島市で受け、新しいまちづくりの事例研修や安全・安心なまちづくりの講演など聞いて、池田市政がより良くなるための議論を議員団で行なっております。

これらの研修などを糧に今年も自己研鑽に励み、市民一人ひとりが未来に夢を持てるまちづくりの議論をまいりますので、ご支援・ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。



中田 正紀



三宅 正起



川西 二郎



山田 正司



渡邊 千芳

議員の年賀状・暑中見舞い・寄付行為は、法律で禁止されています。また、祝電・弔電についても、申し合わせにより自粛しています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

# 公明党議員団

新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いています。皆様いかがお過ごしですか。真冬に送る年賀状でも、「新春」「迎春」と書き、旧暦の季節感の名残ですが、そこから人は、喜びあふれる一年にとの思いを受け取ります。厳冬の中、決意を抱く人の心の中に、希望の春は鼓動を始めます。

これからは、日ごとに昼が長くなっていきます。天の運行は、冬から春へ助走を開始しています。私たち公明党議員団も、希望あふれる池田市をめざして、新たな決意で取り組んで参ります。

無

所

属

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新しい年が皆様にとって良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げますと共に、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。



西垣 智



荒木 眞澄



多田 隆一



馬坂 哲平

# 委員会 レポート



**平成26年度各会計決算審査**  
9月定例会で常任委員会に審査付託した平成26年度の各会計決算について、議会閉会中に各委員会を開催し、審査しました。  
12月8日の本会議で、各委員長が審査の結果報告を行い、それぞれ委員長報告通り認定しました。  
各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

10月30日  
開催

### マイナンバー 情報漏えい対策は

《一般会計》

**問** 平成28年1月より種々の申請にマイナンバーの記入が必要になるようだが、個人情報をもひも付けするマイナンバーの漏えいを防止するためにも、申請用紙に極力記入しない運用はできないか問う。

### 法に基づき適正に運用し 厳重に管理

**答** 各種申請時のマイナンバーの記入については、マイナンバー法等に基づいて適正に運用し、個人情報の取り扱いについては番号記入の有無を問わず、引き続き厳重な管理に努めていく。

### 桃園墓地の 再募集に向けた計画は

《一般会計》

**問** 市立桃園墓地に相当数の空き区画があり、再募集を望む声があると聞くが、どの程度の空き状況であるのか。  
また、再募集へ向けた計画について問う。

## 平成30年度に再募集の 計画で進めている

**答** 桃園墓地については、総区画数1704区画のうち約150区画が空きになっている。  
再募集については、第6次池田市総合計画の第二期実施計画でも示しているとおり、平成27年度に土を入れ替え、平成28年度は地盤の安定化時期として約1年間据え置き、平成29年度には使用料の見直しや墓地の型式変更等の条例改正を行い、平成30年度に再募集する計画で進めている。

## 文教病院委員会

10月20日  
開催

### メディカルタウン構想 今後の取り組みは

《病院事業会計》

**問** DPC制度における入院基本料等加算の中でも、地域医療支援病院入院診療加算が非常に大きなウエートを占めており、経営向上につながるという点からも、地域医療連携がさらに重要になってくると考えるが、市立池田病院の掲げるメディカルタウン構想の今後の具体的な取り組みについて問う。

## 関係機関と連携し 医療サービスの充実をめざす

**答** 疾患の複雑化や患者の高齢化、独居老人の増加により、当院だけで医療が完結できないという現状を踏まえ、かかりつけ医や訪問看護師、介護に携わる方々と連携し、充実した医療サービスを提供できるまちづくりをめざしている。

また、今年の3月には、医療関係者が円滑に連携できるように、地域の医療資源情報を集約した「医療連携マップ」を作成した。  
今後は、マップのさらなる有効活用に向けて、医師会とも連携を図り、地域にコーディネーターを配置する事業も予定している。



## ほそごう学園の 今後の取り組みは

〈一般会計〉

**問** 施設一体型小中一貫校であるほそごう学園は、本年4月に予定通り開園したが、想定していなかった工事の影響などから施設に不具合が発生し、また、小・中学校合同での初の運動会では保護者席が狭いなどの課題があった。

本決算を踏まえて、ほそごう学園の今後の取り組みについて問う。

## 保護者などの意見を踏まえ 創意工夫を図る

**答** 施設の不具合については、トイレの壁のひび割れなどが発生していると聞いているが、学園と相談しながら修繕を行っている。

また、運動会については、小・中学校合同で行うことで適正な規模になったと認識しており、種目についても、異学年合同での競技や演技など、ほそごう学園ならではの工夫を図った運営がなされた。しかし、保護者席の問題も含め、改善点については、保護者などの意見を踏まえて、創意工夫を図ってまいりたい。

## 中央公民館の管理経費 不用額発生理由は

〈一般会計〉

**問** 平成26年4月1日に開館した中央公民館の管理経費に多額の不用額が発生しているが、その理由について問う。

## 個別空調による 光熱水費の減など

**答** 不用額の多くは光熱水費で、全館一斉空調であった旧館の光熱水費を基準に予算を算定したが、新館は個別空調に変更したため経費が抑えられた。

また、清掃委託や機械警備委託、夜間の有人警備委託をそれぞれ長期継続契約で締結したことで、経費の削減につながった。

さらに、保守点検委託料では、自動扉の保守点検とシャッターの定期点検が1年間、エレベーターの保守点検が2カ月間無償となったことによる不用額である。



## 厚生委員会 10月15日 開催

## 国民健康保険料の推移 今後の見通しは

〈国民健康保険特別会計〉

**問** 平成27年度から対象事業が拡大された保険財政共同安定化事業への拠出金が年々増加している影響により、国民健康保険料の引き上げが懸念される。

大阪府では、現在、緩和策が講じられているが、被保険者の多くが低所得である現状を踏まえて、今後の保険料の推移について見解を問う。

## 高齢化率の上昇が 保険料に影響すると予測

**答** 平成27年度は、大阪府で保険財政共同安定化事業拠出金の影響額の90%に対して激変緩和措置が講じられているが、本市では、国保加入者の高齢化率が今後さらに高まり、医療費の増加と拠出額が多い状況が続くと予測される。

保険料への影響とあわせて、平成30年度以降の国保に対する国の財政支援等の動向を注視していきたい。

## 第6期事業計画の趣旨と 介護保険料の今後は

〈介護保険事業特別会計〉

**問** 本市では高齢化が進み、本会計の給付費執行率も91・3%と高くなってきているが、第6期池田市介護保険事業計画の趣旨と、介護保険料の今後の見通しについて見解を問う。

## 地域全体で見守る体制の 強化を図る

**答** 第6期池田市介護保険事業計画では、地域包括支援センターの周知に努め、支援を必要とする高齢者の生活を地域全体で見守る体制を強化し、医療機関との連携による在宅医療の充実を図るものがある。

また、介護保険制度は介護を要する高齢者を社会全体で支援する制度であり、納付する保険料額にかかわらず、誰もがほぼ同内容の給付を受け取るものであることから、被保険者間のバランスを考慮し、負担能力に応じた細かい所得段階を設定し、市民への負担の増加を抑制している。

今後は、消費税の引き上げも視野に入れた国による低所得者への保険料軽減策の動向を注視しつつ、保険料を設定していく。

### 予防健診が重要 今後の取り組みは

《後期高齢者医療事業特別会計》

**問** 後期高齢者医療事業の継続のためには、健康診査や人間ドックによる予防健診が重要と考えるが、受診状況及び今後の取り組みについて見解を問う。

### 受診勧奨を推進し 早期の治療を促す

**答** 健康診査事業及び人間ドック費用助成制度については周知に努めているところであり、平成26年度の健康診査の受診率は48・98%と大阪府下の平均を大幅に上回る結果である。また、人間ドック費用助成についても、受診者は増加傾向にあり、前年度と比較して増加している。

今後は、平成27年3月に大阪府後期高齢者医療広域連合が策定した3年間の大阪府後期高齢者医療データヘルズ計画に基づき健康診査の受診勧奨を推進し、レセプトとの照合により、早期の治療を促すことで医療費の抑制に努めていく。

### 入所基準の緩和による 白寿荘の有効活用は

《一般会計》

**問** 養護老人ホーム「白寿荘」は定員50名であるが、平成26年度末の措置人数は18人となっている。施設の設置目的が異なっており、同列に扱うことは難しいと思うが、特別養護老人ホームなどの施設では多数の待機者がいる現状を踏まえ、白寿荘の入所基準を緩和して有効活用することができないものか、見解を問う。

### 保護施設の位置づけや 運用上で困難

**答** 白寿荘は、環境上の理由や経済的な理由によって在宅では生活を継続できない高齢者を保護する施設であり、その入所は市による措置によってなされている。

条例上の定員は50名であるが、運用上では25名を定員と考えている。また、保護施設である以上、国がその位置づけを改めないかぎり、定員に余裕があるからといって特別養護老人ホームなどの代替施設として入所を認めることは難しい。

### 病児保育実施に対する 見解は

《一般会計》

**問** 現在、市立池田病院内に病後児保育所を開設しているが、「病気回復期」という利用判断基準が指定されている中にもかかわらず、平成26年度では延べ41人もの利用があった。

しかし、保護者としては、子どもが病気であっても預かってもらえる病児保育の実施を望んでいると考えるが、その実施に対する見解を問う。

### 病状急変時に対応できる 体制が必要

**答** 市立池田病院内に設置している病後児保育所は、本年4月からは利用対象を拡大し、さらなるサービスの向上に努めている。

病児保育の実施については、保護者からその実施が求められるところではあるが、病気の回復期にない子どもを預かるにあたって病状急変時に対応できる体制が必要であり、医療機関での設置が望ましいと考えるため、病後児保育を継続しながら、市立池田病院との協議・検討を踏まえて考えていきたい。

## 土木消防委員会

10月13日  
開催

### 水道事業会計の今後の 財政推計と料金改定は

《水道事業会計》

**問** 本市の水道事業は、近年の水需要の減少に伴い料金収入が減少する中、経営の効率化を図るなどして平成6年度以降、経常利益を計上し続けてきたが、本決算では純損失を計上している。

今後、水道施設の耐震化や更新のため、より一層、多額の資金が必要になってくることを踏まえ、今後の財政推計と料金改定についての見解を問う。

### 料金のあり方も含め 経営健全化を検討

**答** 本決算においては、地方公営企業会計基準の見直しによる引当金の義務化を主な要因として赤字を計上することとなったが、平成27年度以降は再び黒字に転すると見込んでいる。

ただし、平成27年度から49年にかけて施工予定の古江浄水場の耐震補強工事や、ろ過池更新工事が完了する翌年度の平成31年度から減価償却費が発生するため、財政状況は厳しくなってくることを

予想される。また、内部留保資金についても、減少していくと考えられるため、平成29年度に予定している上下水道事業経営審議会の中で、水道料金のあり方も含め、経営の健全化について検討したい。

### 下水処理場の耐震の現状と今後の対策は

《下水道事業会計》

**問** 平成23年に発生した東日本大震災では、被災地の下水処理場に甚大な被害が生じた。今後、本市においても大地震による被害が想定されるが、下水処理場の耐震化の状況と今後の計画は。

### 地震対策整備計画に基づき対策を進める

**答** 平成20年度に地震対策整備計画を策定し、段階的に防災対策を実施するべく、対象施設の整理を行っており、災害時でも最低限の処理機能を確保できるよう、沈砂池や最初沈殿池、消毒施設について耐震化対策を要する施設として選定している。

また、この計画により平成26年度には池田市下水道総合地震対策及び耐震対策を策定し、平成27年度は汚水ポンプ棟を、平成28年度以降は、放流ポンプ棟、放流渠、沈砂池施設、滅菌棟についての耐

震診断を順次進める予定である。

### クリーンセンターの長寿命化計画は

《一般会計》

**問** クリーンセンターは昭和58年の稼動から30年以上が経過し、老朽化が問題となっており、できる限り有効な長寿命化計画が望まれるが、「地域計画策定業務」に係る調査委託料が当初予算に比べ大幅に減額になっている理由と、今後の長寿命化計画の考え方について問う。

### 全面改修に向け設計を進めている

**答** 平成26年度に地域計画及び長寿命化計画の策定を予定していたが、平成26年4月の国の交付金要綱の改正により長寿命化計画策定事業が新たな交付金対象事業となり、地域計画の策定・提出がその要件となったため、まず、地域計画を策定し、長寿命化計画を交付金対象年度となる翌年度に策定することとしたため減額となっている。

また、3基の焼却炉をこれからも維持していくための全面的な改修にあたり、交付金額に影響を与えるCO<sub>2</sub>の排出を可能な限り抑制できる設計を現在進めている。

### 桜の植栽事業今後の展望は

《一般会計》

**問** 猪名川サクラ植栽事業については当初、堤防を傷めない植樹方法など様々な問題があり困難ではないかと言われる中、小南市長が副市長当時に尽力し実現されたものである。

現在は神田夫婦池線の八重桜植栽も始まり、将来、夫婦池テニスコートと猪名川の桜が線で結ばれ、「ガーデンシティ池田」構想がさらに推進されることを期待するものであるが、今後の展望は。

### 市内各地で長く鑑賞できる植栽を意図

**答** 桜の植栽事業については、開花時期の異なるソメイヨシノと八重桜をそれぞれ五月山と市街地に植栽することにより市内各所で少しでも長く桜を楽しんでいたという意図である。

また、花を愛でながらハイキングを楽しめるよう五月山ハイキングコースにも様々な花を植栽すると同時に、市内全域に草花を飾っていく施策を強化したい。

そのような環境の下で、高齢者福祉、子育て、教育、安全・安心の施策を推進していきたい。

## やまばと

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、日頃から市議会に對しまして、ご理解、ご協力、そして、貴重なご意見等をお寄せいただきまして、誠に有難うございます。さて、昨年10月に行った平成

26年度決算の審査においては、市の貯金ともいえる財政調整基金が45億円となっており、安定した財政運営が行われていると評価しました。しかし、今後の社会情勢や市の必要経費を勘案すれば予算を許さない状況であることは間違いありません。そうした中、市議会の役割はさらに重要となり、身が引き締まる思いであります。

本年も、委員一同、本会議や常任委員会の審議内容を市民の皆様へわかりやすくお伝えできるように頑張っておりますので、ご愛読のほど、よろしくお願いたします。

市議会だより編集特別委員会

- 委員長 三宅 正起
- 副委員長 倉田 晃
- 委員 小林 吉三
- 委員 羽田 達也
- 委員 荒木 眞澄
- 委員 前田 敏
- 委員 細井 馨